

第22回日韓スポーツ交流・成人交歓交流 実施要項
＝スポーツ庁国庫補助事業＝ <日韓共同未来プロジェクト事業>

1. 目 的

2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓両国の共同開催決定を機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓両国の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツの振興を図ることを目的とする。

2. 交流方式

日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式

3. 主 催

公益財団法人 日本スポーツ協会

4. 共 催

公益財団法人 北海道体育協会、公益財団法人 岐阜県体育協会、公益財団法人 日本サッカー協会
 公益財団法人 日本テニス協会、公益財団法人 日本バレーボール協会、公益財団法人 日本バスケットボール協会
 公益財団法人 日本自転車競技連盟、公益財団法人 日本ソフトテニス連盟、公益財団法人 全日本軟式野球連盟
 公益財団法人 日本ソフトボール協会、公益財団法人 日本バドミントン協会、公益財団法人 全日本ボウリング協会
 北海道、札幌市、一般財団法人 札幌市体育協会

5. 内 容

【派遣】

- (1) 派遣対象 成人男女 (30歳～70歳) : 188名、本部役員 : 7名 ※心身強健で協調性のある者
- (2) 派遣期間 平成30年5月10日(木)～16日(水) 7日間(予定)
※2018全国生活体育大祝典への参加を中心とした日程
- (3) 競 技 10競技

競技	サッカー <男子> (19名)	テニス <男女> (18名)	バレー ボール <女子> (19名)	バスケット ボール <男子> (18名)	自転車 競技 <男女> (18名)	ソフト テニス <男女> (22名)	軟式 野球 <男子> (19名)	ソフト ボール <女子> (19名)	バドミントン <男女> (18名)	ボウリング <男女> (18名)	本部 役員	合計 人数
北海道 (143名)	19	9	19	18	9	13	19	19	9	9	7	195
岐阜県 (45名)	—	9	—	—	9	9	—	—	9	9		

- (4) 会 場 大韓民国・忠清南道
- (5) 経 費 参加料 : 1万円
 韓国内での滞在費は大韓体育会の負担
 その他派遣に関わる以下の経費は公益財団法人 日本スポーツ協会の負担
 - a 集合、離散に関わる国内交通費
(但し、自宅から道県体育協会が定める集合場所までの経費は自己負担)
 - b 前泊に伴う宿泊費(日程上、必要が生じた場合)
 - c 渡航費(但し、パスポートの取得に関する諸経費は自己負担)
 - d 旅行傷害保険
 - e ユニフォーム(競技用ユニフォームは含まない)
- (6) その他 監督・コーチは、本会公認スポーツ指導者資格を有する者が望ましい。

【受入】

- (1) 受入対象 韓国の成人男女 (35歳～70歳)
韓国本部役員
- (2) 受入期間 平成30年11月23日(金・祝)～26日(月) 4日間
- (3) 競 技 6競技

競技	テニス <男女>	バレーボール <女子>	バスケットボール <男子>	ソフトテニス <男女>	軟式野球 <男子>	ボウリング <男女>	本部 役員	合計 人数
人数	18	19	18	22	19	18	7	121

- (4) 会 場 北海道 札幌市
- (5) 経 費 公益財団法人 日本スポーツ協会 負担